

# 重点目標一覧表（中間報告調書）

担当部局名	真田地域自治センター
-------	------------

【平成28年度重点目標】

重点目標	真田の郷おもてなし態勢の充実		
具体的な重点取組項目（箇条書き）		期限・数値目標等	進捗状況・進捗度
1	<p>真田の郷周遊観光バスの運行 真田氏歴史館特別展等開催 （1）「真田丸」をテーマに特別展の開催 （2）真田氏ゆかりの地紹介映像制作 真田まつりの開催 ・NHK大河ドラマ及び上田市合併10周年を記念したまつりの開催 合併10周年記念事業への支援・協力 （1）御屋敷つつじまつりへの支援・協力 （2）高橋まゆみ人形展への支援・協力 真田氏を学ぶ講座開催 地域との協働による案内板等整備</p>	<p>利用者数：延べ10,000人  （1）特別展入館者数：15,000人 （2）5月末迄に設置完了 来場者数：10,000人  （1）来場者数：5,000人 （2）入場者数：6,000人 年度内2講座以上の開催 10月までに案内板等整備</p>	<p>4月～9月末までの89日間に1,335便を運行し、利用者は延べ14,705人 （1）特別展「大坂城 真田丸」を5月21日～9月30日の間開催し、観覧者数は64,665人 （2）真田氏ゆかりの地を紹介する映像制作については、映像選択システムの作成に時間を要したことから、6月10日から展示を開始  第32回真田まつりは、NHK大河ドラマ「真田丸」の出演者4人をお迎えして大いに盛り上げていただき、真田地域内外から約12,000人の来場者があり、上田市合併10周年を記念する盛大な祭りを開催 （1）5月15日に「御屋敷つつじまつり」が開催され、主催者発表では来場者数は4,500人 （2）「高橋まゆみ人形展」は、7月30日～8月16日までの18日間、地元有志による実行委員会により開催され、入場者数は11,123人  7月公民館講座「大坂城真田丸」（参加者120名）を開催 12月に「真田丸シンポジウム」を計画 旧上原区管理委員会と連携しながら、真田氏館跡の由緒等の説明板を6月に設置済</p>
重点目標	新たな住民自治の仕組みづくり		
具体的な重点取組項目（箇条書き）		期限・数値目標等	進捗状況・進捗度
2	<p>地域経営会議「真田まちづくり準備会」における調査、検討  ・地域の課題の把握と解決策の検討、先進地視察 地域住民への周知、意見把握 ・地域づくり委員会、関係団体との懇談会、セナーだより等による情報提供 住民自治組織設立の方向づけ ・タウンミーティングの開催、住民自治組織の枠組み案の検討、地域まちづくり計画案の策定</p>	<p>準備会を毎月開催  住民自治組織先進地を視察 全36自治会、自治会連合会、各種団体への周知及び意見把握 自治センターだより等による周知 4箇所(小学校区単位)で開催、枠組み案の決定、計画案の素案決定</p>	<p>5月から9月にかけて6回の会議を開催し、6月28日に開催した第2回会議で、年度内の住民自治組織設立に向け取り組んでいくことを確認 9月29日に新潟県上越市の「住民自治組織」の先進地視察を実施 5月、7月、9月の各自治センターだよりで、準備会の活動状況に関する記事を掲載 7月 全36自治会の地域づくり委員会と準備会の活動状況及び住民自治組織についてお知らせ 各種団体等との懇談会については、9月末までに2団体と実施し、今後も継続して実施予定 8月30日の第4回会議からは、信州大学地域総合戦略推進本部研究員の先生を講師に招き、地域住民が主体となって地域を「自ら治める」新たな仕組みづくりに向けた話し合いを行っており、今後、枠組、組織案等について、地域住民や団体との意見交換を重ねながら、設立に向け取り組む予定</p>
重点目標	菅平高原スポーツリゾート地の整備促進		
具体的な重点取組項目（箇条書き）		期限・数値目標等	進捗状況・進捗度
3	<p>菅平地区振興施設整備事業の推進 （1）地元建設委員会を設立し、調整を図る （2）施設の調査、設計及び工事着手  菅平高原植生環境保全に向けた実証実験等の実施</p>	<p>（1）定期的な定例会の開催 （2）今年度中の工事着手  植生回復実験及びモニタリングを実施し検証</p>	<p>（1）地元との協議を進め、基本設計に係る地元建設委員会との協議を6回、分科会協議を4回実施 （2）基本設計について合意ができ、今後のスケジュールも確定したことから実施設計に着手 また、9月からは、建設予定地の地質調査（4箇所）にも着手  6月24日に環境省長野自然環境事務所が主催する特別授業「根子岳って知ってる？」を菅平小中学校で開催し、80人の参加があり、また、8月11日には、昨年から継続しているモニタリング調査を実施し、植生回復の状況を検証</p>
重点目標	地域防災活動の推進		
具体的な重点取組項目（箇条書き）		期限・数値目標等	進捗状況・進捗度
4	<p>自主防災組織の育成 （1）自主防災組織リーダー研修会・先進地視察の実施 （2）災害ハザードマップの利活用の促進 防災訓練の実施 （1）重点地区における防災訓練の実施 （2）重点地区以外では、自治会単位での防災訓練の実施 （3）有線放送の伝達情報の即時性を活用した防災訓練の実施 災害時要援護者登録制度を活用した支援の充実 （1）自治会における防災訓練及び日頃の支援活動への活用の働きかけ （2）自治会における台帳作成の支援に関する働きかけ （3）更新作業の実施により、リスト及びマップの見直し</p>	<p>（1）6月までに36自主防災組織を対象に実施 （2）6月までに災害ハザードマップを利用した研修会の実施  （1）9月に傍陽地区を重点地区に定めて実施 （2）11月までに各自治会で、地元の消防団と連携した防災訓練を実施 （3）各種防災訓練において、有線放送を活用  （1）（2）自治会への説明会3回、 （3）民生委員会での研修3回、福祉委員・福祉推進委員への研修1回、先進他市町村の研修</p>	<p>（1）5月19日に自主防災組織の役割等について研修会を開催し、31自治会が参加 5月27・28日に16自治会の自主防災組織リーダーが中越地震被災地施設を視察し、防災学習体験プログラム等の研修を受講 （2）5月19日に自主防災組織リーダーを対象に災害ハザードマップについて研修会を開催し、31自治会が参加  （1）9月3日に傍陽地区を重点地区として、509人の参加により傍陽小学校を会場とした防災訓練を実施 （2）36自治会中23自治会が実施（傍陽（重点）地区13（内1自治会は2回実施）、長地区4、本原地区6の自治会で実施） （3）上田市防災訓練において有線放送を活用した非常伝達訓練を実施し、防災訓練への参加啓発にも有線放送を活用  （1）（2）自治会への説明及び働きかけを3回実施（5/19,6/22,7/25） （3）民生委員会での説明・研修を4回実施（5月,7月,8月,9月）、7/28社会福祉協議会と共に東御市視察 8月、真田地域全対象者に更新通知を送付し、今年度中のマップ及びリスト（台帳）の見直しを予定</p>
重点目標	地域公共交通の推進		
具体的な重点取組項目（箇条書き）		期限・数値目標等	進捗状況・進捗度
5	<p>利用促進に向けた広報活動 ・地域住民への広報活動、地域内事業所訪問によるPR活動  バス利用促進イベントの開催 ・真田地域公共交通利用促進協議会主催により、関係機関の協力を得て各種イベントの実地  真田地域公共交通利用促進協議会の運営 ・役員会及び総会の開催、利用促進に向けた調査、研究</p>	<p>地域づくり委員会、自治会連絡協議会等への広報活動及び事業所訪問の実施  関係機関との協力を推進し、時宜を得て、各種利用促進イベントを開催し利用促進を図る  総会7月、役員会随時開催</p>	<p>7月に全36自治会の地域づくり委員会で、運賃軽減バス実証運行の継続チラシを配布し、路線バス利用の呼びかけ また、6月から7月にかけて行われた各高校の真田支部PTA総会において、運賃低減バスの利用促進チラシを配布 7月7日から8月7日の1ヶ月間、真田地域内の保育園3園、幼稚園1園の年長園児による絵画69点を展示した「七夕バス」を運行 併せて、各園の園児83人によるバス乗車体験を実施 8月6日の真田まつりで、路線バス乗車体験を行い、運賃低減バスのチラシと景品の配布、500人余が見学 7月26日から8月23日の夏休み期間中、小学生以下を対象とした「キッズバス」イベントの実施に併せて、真田地域内で「スタンプラリー（5箇所）」を実施 9月15日から10月14日まで、「回数券/定期券特別販売企画」を実施し、回数券または定期券購入者に粗品をプレゼント 7月5日に真田地域公共交通利用促進協議会の平成28年度総会を開催 総会では役員及び正副会長を選出し、平成27年度事業報告及び決算報告、平成28年度事業計画及び予算を承認 また、同総会において、これまでの運賃低減バスの利用実績や今後3年間も実証運行が継続して行われることについて会員に報告 5月30日及び6月21日に役員会を開催し、総会（7/5）の議案、利用促進に向けて報告事項等を審議</p>

評価基準 [ : 目標を上回る進捗 ] [ : 目標どおり進捗 ] [ : 未進捗の部分あり ] [ × : 全て目標未進捗 ]

市長指示事項
<p>・菅平の振興施設については、財源を含め、地域との合意形成しながら確実に事業を進めること。・地域公共交通は、促進協議会や住民主体の活動へサポートしながら取り組むこと。</p>